



平成26年7月1日
No.76

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
本條義和

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL. 078-891-3871 / FAX. 078-891-3872
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyokaren.or.jp>

メリデンファミリーワーク技術研修 京都・東京で開催 神戸ではミニセッション

ひょうかれん会長 本 條 義 和

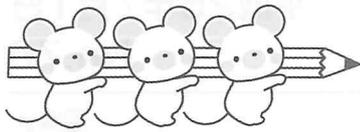
全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)では、設立以来、家族支援の実現のために様々な取り組みを行ってきました。先ず実態を知るため会員家族の全国調査を行い、家族の「7つの提言」を行いました。

そのような中、英国のバーミンガムで、メリデンファミリーワークという家族支援技術が開発され実践されていることを知りました。その家族支援は、訪問をし、本人を含めた家族全員を個別に、また本人を含めた家族全体を支援するという私たちが求めていた家族支援そのものでした。

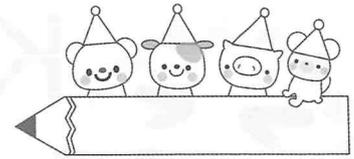


「みんなねっと」では、日本にメリデン版訪問家族支援技術を導入し、日本で根付かせていくことにし、メリデンファミリープログラムからファッデン所長等最高責任者3名をお招きし、去る3月3日の神戸でのミニセッション、京都(3月5日)東京(3月7日)では、終日メリデンファミリーワーク研修を行いました。今後は、平成26年度・平成27年度に基礎研修を行い、その中から選抜された方がメリデンファミリープログラムでトレーナー研修を受け、早ければ平成28年には、日本で日本語で日本人講師によるファミリーワークを受けられるようになる見込みです。

兵家連も、こうした、「みんなねっと」の動きに呼応し、従来の家族だけで抱え込むことから、本人を含めた家族全体を社会で支援する体制にするため、全力を尽くしていきたいと思えます。又、これからの数年間は「障害者基本法」をはじめ「精神保健福祉法」、「障害者総合支援法」・「障害者雇用促進法」等々の見直しが目白押しです。会員各位はもとより、関係者の方々とも議論を交わしながら、心に障がいがあっても地域で当たり前の生活ができる社会を目指し取り組んでいきたいと思えます。



ご 報 告



障がい者3団体の代表者が、井戸敏三知事にあいさつ

恒例の知事に対する新年あいさつを、本年も1月9日、兵身協の岡田理事長、県育成会の小原理事長等と県知事室にて行いました。兵家連の本條会長は、兵庫県精神障害者相談員制度が、昨年5月30日の参議院厚生労働委員会でも質疑があったこと及び、県議会で精神障害者相談員制度の早期法制化を求める意見書が採択され国に意見書が送られたことに対するお礼と報告をしました。又、障がい者就労を進める方策も話題になり、本條会長は昨年同様、事業協同組合算定特例制度の活用を意見具申しました。

なお、兵庫県は平成26年度から新規事業として特例子会社・事業協同組合の設立等支援(25,524千円)を実施することになりました。

「障害者の権利に関する条約」批准書が寄託

1月20日、日本は国連に、「障害者の権利に関する条約」の批准書を渡し、受理されました。2月19日から日本国内でも効力を発することになります。日本はEUを含め141番目の締結国です。

みんなねっと精神障害者相談員制度の創設を国に要望

兵庫県では、兵庫県独自の制度として、県知事より委嘱を受けた300人強の精神障害者相談員が県下各地で活動していますが、国自体では、精神障がい者だけ相談員制度がありません。そこで兵家連では、平成25年10月兵庫県議会および、平成26年3月神戸市議会に請願し、いずれも採択され国の方に意見書が送られました。このたび、みんなねっとでも1月17日、厚生労働省に要望し、「身体・知的障害者相談員制度の現状を確認し、精神障害者相談員について制度化、予算化が可能かどうか、検討する」との回答を得ました。

厚生労働省「統合失調症薬の減薬ガイドライン」発表

みんなねっと3月号の特集は、「薬を減らすガイドラインへの期待」ですが、昨年10月厚生労働省の研究班が減薬指針を公表した背景や、医師とのコミュニケーションの取り方に対するアドバイスを、研究をまとめた国立精神・神経研究センターの山之内芳雄医師にインタビューしたものが掲載されています。又、抗精神病薬治療適正化の推進に関する資料も転載されています。

このように、みんなねっとでは毎号皆さんの関心が高い内容を、特集を組んでお届けしています。みんなねっとのお申し込みは、下記まで

公益社団法人全国精神保健福祉会(みんなねっと)TEL:03-6907-9211

第9回兵庫県障害者 芸術・文化祭

美術工芸作品公募展が開催されました

笠原 健さんが兵家連
会長賞を受賞

平成26年3月11日(火)～3月16日(日)神戸市原田の森ギャラリー(兵庫県立美術館王子分館)において、第9回兵庫県障害者芸術祭美術工芸作品公募展が開催されました。

絵画・書道・工芸・写真等の分野から合計392点の応募がありました。審査員より「絵画ではユニークな作品や、オリジナリティのある作品が多く、想像の深さ、作品の魅力を再認識させられました。書道には力強い作品が多く、楽しませて頂きました。しかし写真の出展が12点と例年より少なく残念でした。」との講評がありました。

最終日の16日には、県知事賞・県議会議長賞・神戸新聞厚生事業団理事長賞および各障害者3団体代表者賞の表彰式がありました。

兵家連会長賞には絵画部門で笠原 健氏の「ボクの世界」が選ばれました。大変おめでとうございます。

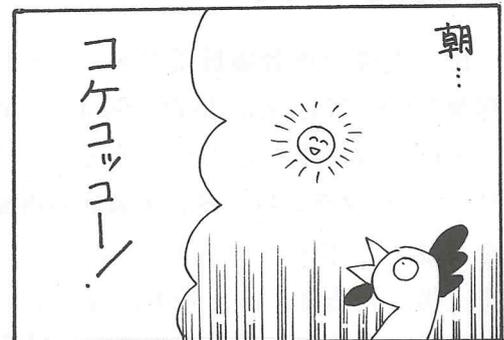
受賞作品



兵家連会長賞「ボクの世界」笠原 健さん



不眠 よしえ



TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から(1)

中・西播磨
地区

共同生活援助「グループホーム」の運営について

NPO法人はりま福祉会副理事長兼グループホーム管理者 武田 恵 輔

当福祉会は現在、平成22年9月15日開設のハイツノバ田寺(所在:姫路市田寺8丁目13番45号 定員11名 女性専用)、平成24年4月1日開設のハイツノバ伊伝居(所在:路市伊伝居318番地1 定員16名 男性専用)、平成25年12月1日開設したハイツ山崎(所在:宍粟市山崎町中広瀬22番地1 定員4名 男性女性兼用)の3施設を運営しております。

尚、田寺と伊伝居は殆どの室が入居中であるものの山崎に於いては1名のみが入居になっており、今後は近隣の各事業所様の応援を戴きながら定員が確保できるよう進めていきたいと思っております。

入居者の皆さんの殆どの方が「グループホームが最高の居場所です」と言って戴けることが運営者としての誇りでもあり、励みになっております。

夕食後には職員と入居者がゲームをしたり、一緒にテレビを見たりして、お互いの信頼関係を築けるように職員は日々努力をしております。入居者の中からは一般就労を勝ち取った人も出てきており、努力が報われております。

これからも入居者一人一人の特性を活かしながら、自立ができるように支援することを理念とし、邁進して参りますので宜しくお願い致します。

神戸地区

英国メリデン視察報告

民主党神戸市議員団 大寺 まり子

民主党神戸市議員団のメンバーは、家族支援政策を実施しているバーミンガム&ソリハル精神保健NHS(National Health System)研修所を昨年12月に訪問しました。

国の医療制度のひとつであるメリデン・ファミリー・プログラムは、統合失調症の再発予防の研究を実施し、本人だけに対する支援より家族全体を支援した方が、防止効果はるかに高いという検証結果をもとに開発が進められ効果を上げています。

このプログラムは、本人はもとより家族全員の気持ちに細かく配慮され、具体的に実践できるようにマニュアル化されています。どの家族からも「家族間でコミュニケーションをとる方法を学んだこと」が指導を受けて一番よかったと伺いました。「専門家よりも家族」を大切にしているこのプログラムの効果がここに現れていると思いました。



TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から(2)



北播地区

小野市初の「しょうがい者・地域活動支援センター」 【ひまわりハウス】1月開設!!

つつじ会家族会会長 岩本 真千子

長い長い道のりでした。よかったの一言です。私たち「つつじ会家族会」はこれまで二つの作業所を開設してきましたが、二つとも加東市にあります。何とか小野市にみんなの居場所になる「地活」を立ち上げたく、ずうっと思い続けた結果、やっと借家も見つかり、家族会・スタッフ・ボランティア・メンバーの人たちみんなですべて約五ヵ月間、借家の修理や備品の設置等を行い、やっと1月6日の開設にこぎつけました。

あれやこれやといっているうちに早や二か月が経過しました。まず、私たちの施設は火、水曜日が休日で土日にも開いています。又、調理実習を毎日実施、入浴サービス・トレーニングジム週一回、その他いろいろメンバーと意見を交換しながら楽しい居場所づくりに励んでいます。皆様も見学にお越しください。

所在地 675-1335 小野市片山町1075-4 連絡先 電話 0794-70-8989

“心にしょうがい(知的、精神、発達しょうがいなど)を持つ方が共に支え合い、助け合いましょう!”

兵家連きょうだい会

第12回兵家連きょうだい会が3月9日(日)

午後1時から県福祉センターで開催されました。

兵家連きょうだい会は、平成23年9月21日に第1回を開催し、今回で12回目となりますが、平成26年度の進め方も話し合わせ、今後(第13回以降)は奇数(5、7、9、11、27年1、3)月の第4日曜日午後1時30分より県福祉センター内で開催されることが決まりました。



— P R —

～姫路城正面にある、授産品のアンテナショップです～

ひめじ授産振興センターレガーレは、姫路市内の障がい者施設で作られた品物(授産品)を展示販売しているお店です。施設の方々が心を込めてひとつひとつ作り上げた作品は、個性と温かみにあふれたものばかり。作り手の気持ちが伝わってくる品々です。是非一度お手にとってご覧いただければ幸いです。

授産品
アンテナショップ
レガーレ

★姫路城大手門を出て、道をはさんだすぐ前にあります★
〒670-0012 姫路市本町68番地
家老屋敷跡便益施設C棟(はの屋敷)1号室
TEL/FAX 079(283)2303



地域生活支援システムの担い手としての家族会

NPO法人中央むつみ会

理事長 坂井 宗月

今から遡ること30数年、勤め先の精神・神経科クリニックの家族会で精神障がい者の家族の方々に初めてお会いしました。ご家族のお話を聞いて、家族の方々は子どもさんの病気・障がいを丸ごとご自身のことのように背負っておられると気づき、また子どもさんの精神疾患の発病に強い責めをも負ってしまうことに心が痛みました。

精神疾患が馴染みの薄い病気の為、どうしたら良いのか戸惑い困り果てるものの周囲のどなたにもその気持ちを打ち明けることが出来ずに苦しんでおられる姿を目の当たりにする一方で、家族会でその重たい荷物をおろせることの大切さも知りました。そして、家族は支え手でありながら、支えが必要な存在でもある、という両面性に気づきました。

そこが原点となり、精神障がい者の支援と家族への支援は切り離せるものではないと考えるようになりました。精神障がい当事者への調査で「当事者が頼りにしている存在」の一番は断然ご両親及び家族です。その家族が精神的負担を少しでも軽減され、気持ちに余裕を持てる事は、丸ごとご本人の精神的負担を減らす事に繋がり、ひいてはご本人の病気・障がいの軽減に繋がるでしょう。

そのために、家族自身が不安や悩みを打ち明ける場所が増え、病気・障がいについての知識や接し方・向き合い方の知恵、法制度・社会資源等々についての開かれた情報が各家族に届く事、障がい当事者・家族両方への社会的なサポートが整い充実する事など、社会全体の仕組みの中での支えが必要です。

幸い地域には専門的に取り組む機関・人材等の資源が徐々に増えてきましたが、社会的資源の更なる充実を願います。

また近年、高齢化が進み家族会は疲弊しがちです。当法人の家族会も32年目を迎え、高齢化に伴う会の存続のサポートの必要性を痛感しました。

現在は法人との協力で運営しています。貴重な知恵や実績・役割を長年積み重ねてきた家族会の機能が社会の中で生かされ続けることを願います。

その為にも今後は是非、時代の要請である社会資源間のネットワーキング・連携・協働により、兵家連を中心に家族会が地域の生活支援システムの構築の担い手として参画される事を期待します。

**兵家連
賛助会員
募集**

あなたのご支援で、兵家連は運営されています！

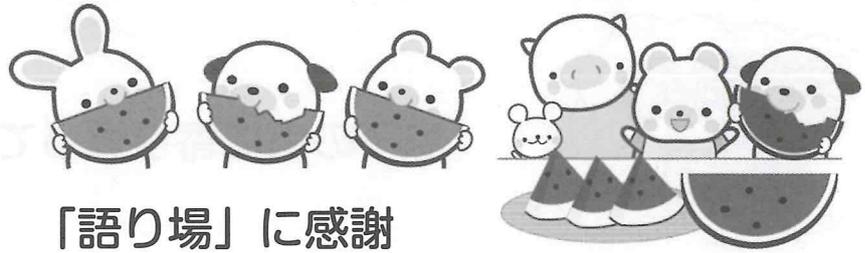
年会費 団体の場合 1口 10,000円

個人の場合 1口 3,000円

一口以上、何口でも結構です

振込先 郵便振替 01110-4-83568 兵家連





「語り場」に感謝

いこいの場ひょうご 高瀬 建三

人生には無駄とゆとりが大切だ。効率を追い求め過ぎた結果が今の余裕の無い社会だ。「頑張らない」ことこそが大切だ。「遊び」が無いと擦り切れてしまう。

個人的な話になって恐縮だがそういう考えに到達するのに多大な時間を要した。まさに「泣いて覚える笑いかな」である。

私たち精神障害者はあまりに寡黙だ。自分を表現することが下手だ。「この世は生きるに値する」と言ったのは世界的アニメ作家、宮崎駿さんだ。引退の日にそう語った。

人生をあきらめた人、何をやっても上手くいかない人、孤立している人・・・どうかなげやりにはならないで欲しい。そこまで「追い詰めるもの」は何か？落ち着いて振り返ってみる「時間」を持って欲しい。

ここ数年私は「精神保健福祉」の歴史を見直し、年表にする作業をしている。制度や法律が生まれる前に私たちはもっと参加すべきだと今強く思う。総合支援法、精神保健福祉法、差別解消法、多くの改定、それらが私たちにとって不本意なものならば声を上げるべきだ。そして話し合うべきだ。それが叶わないならさまざまな手段も必要だ。

私の経歴等は2014年2月19日毎日新聞朝刊、2002年1月19日朝日新聞朝刊に詳しく載っている。

繰り返しになるが私たち精神障害者はあまりに寡黙だ。一人ひとりができることから声を上げよう。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」知恵を出そう、勇気を出そう、抑圧から這い出そう、生き抜こう。そこから「当事者主体」が見えてくる。

最後に。家族同士はむづかしい。分かり合えなくても「血まみれ」になっても自立し合って欲しい。そこから生まれる「相手を思いやる気持ち」が大事だ。それこそが無駄とゆとりを大切にすることだ。前向きに行こう。「発表の場」を与えてくださった皆様に感謝。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター

電話番号 078 - 367 - 7210

平日：午後5時～翌日午前9時

土・休日：午前9時～翌日午前9時

(平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に教えてください◆



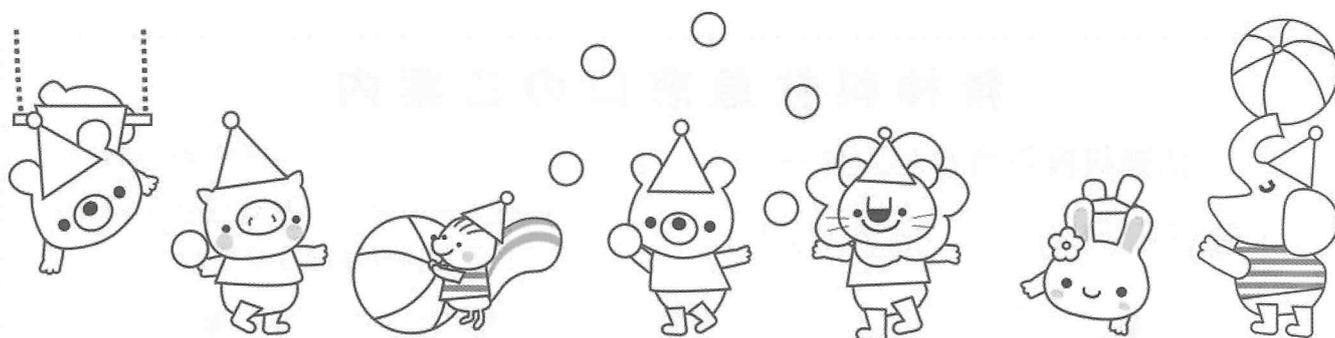
『息子の病に寄り添って想うこと』

匿名

息子は統合失調症の病名で平成7年から4度入院し45歳、病気になって25年の歳月が流れ、回復の兆しが未だ見えてこず、現在では悪化の状態を感じている。病状は不安と発作、眼球上転、呼吸困難、認知機能低下、食欲低下など体重減少になり、70kgから20kg以上痩せて痛々しい。本人はあまりの苦しさに「僕の体がマイナスになっていきそう、苦しい！助けてほしい！」と精一杯私に訴える。薬の重篤な副作用かと思うが、病院側から「お母さんが心配し過ぎるからだ」といわれる。最初の面談の頃、外泊するときに詰所と連携ができていなかったことで、本人の目の前で主治医に「転院してください！」と罵倒され、息子は症状悪化したこともあった。息子の症状悪化を説明するべく主治医に電話して聞いたところ、「薬を全部やめましょうか！」と言われ、耳を疑って正直愕然とした。息子の病状が生命の危機を感じ、親として切なる気持ちを主治医に助言を求めたことへの反動でしょうか？

五年前に移転した新しい療養病棟の環境にも慣れ、前の主治医は誠実で本人や家族の話をよく聞いて下さり、いつもコミュニケーションをとりながら面談もし、少しずつ調子も良くなり、外泊を6泊7日希望し退院を目途に外泊を続けていたのに、主治医が代わって現在の医師は「不安症状が強いので、周囲は慢性期に騒がない方がよい」と言い、看護師も「A君ひとりに関われない」と言います。苦しんで助けを求める息子をただ見守るだけです。このままここで主治医と看護師の治療方針を信頼することは難しくなってきた。それで息子の人権を尊重してほしいと院長に会見を求める電話をしたが、「大勢の患者の家族にいちいち対応してはられない」と断られ、過日、私の属する家族会会長で兵家連理事の同席でようやく親の想いを伝えることができた。家族会なればこそと感謝している。

夫を亡くし歳を経て弱りそうな心身に鞭打ち必死で息子の厄介な病に寄り添って強く想うことは、精神科医療の現場が何よりも利用者である本人・家族の想い、患者の権利に敏感に対応できる「敷居の低い癒しの場」になってほしい、そうならなければならないと。



電話
相談

Q & A

電話相談室担当 P S W

【姉からの昼夜を問わない電話に悩まされています】

今回もご相談いただいたご家族からの事例を取り上げたいと思います。
なお、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

質問

相談者：当事者の弟50代

60代半ばの姉は統合失調症を若くに発症し、長期入院を経て病院近くのアパートで独居しています。私はこの姉を筆頭に5人兄弟の末っ子で、姉は中学を出て働きながら准看護師の資格を取得し、親代わりに面倒を見てくれました。現在は私も妻子を得て、一家を構え、仕事の関係で単身赴任中です。

姉は離婚後、統合失調症を患いました。私自身、姉を大切に思う気持ちはありますが、病状が重く病識も乏しい姉を他の兄弟たちは拒否し、唯一近くに住んでいる私の自宅へ昼夜を問わず電話をしてきて困っています。電話を取るのは主に私の妻ですが、姉は小姑意識で妻を罵倒することもしばしばです。

姉に対してどのように接すればいいのか、良いアドバイスをお願いします。

回答

お姉さんを大切に思っているが、距離的に遠く、奥様とお姉様の関係にも心を痛めておられるようです。統合失調症と付き合いながらも、独居生活を続けてきたお姉さんを応援したいが、難しいというジレンマも伝わってきます。

若くに統合失調症を発症し、無理して仕事を続けてきた方は大勢おられます。PSWがどのように対応しているのか紹介します。

長らく統合失調症を患われたお姉様は、家族や友人とも疎遠になり、孤独で寂しいのだと思います。そこで、PSWがご家族にお願いするのは、時々電話したり、会いに来て頂きたいということです。盆と正月で構わないと思います。病状が悪い時を思い出して、躊躇されるかも知れませんが、支援者が何回も訪問するよりご家族が会いに行ったり、電話をかけた、贈り物をする方が効果絶大です。

又、電話が多く内容も厳しい事については、時間はかかっても、弟さんが意識的にお姉さんに意思表示されることで、徐々にではありますが、お姉さんも変わってこれられると思われます。

昼夜を問わず…の電話に対しても、なかなか難しいかも知れませんが、感情的にならずきちんと状況を何回も伝え、時間をかけて理解を促して頂ければと思います。

長く患っている分、回復にも時間を要するものだと理解して頂けると幸いです。

兵家連電話相談室 H25年度業務報告(障害者110番)

平成25年度担当者: 22名

① 月別延べ相談数

4月	198
5月	86
6月	179
7月	113
8月	173
9月	95
10月	177
11月	127
12月	122
1月	69
2月	130
3月	100
合計	1,569件

※1ヶ月平均 約130件

② 男女比

男	女
777	792

③ 当事者割合

当事者	家族等
1,046	523

④ 年齢別件数

20歳未満	18
20歳代	154
30歳代	306
40歳代	587
50歳代	352
60歳代	125
70歳以上	27

⑤ 地区別件数

神戸市	979
阪神南	326
阪神北	80
東播磨	95
北播磨	24
中播磨	10
西播磨	4
但馬	6
丹波	6
淡路	9
県外	30

⑥ 相談内容別件数

家族・家庭	573件	福祉サービス	206件
人生・家族	404	在宅福祉サービス	64
家庭生活	162	施設・機関・窓口	135
その他	7	福祉機器	0
法律	29件	介護・介助	3
家族問題	7	その他	4
財産・金銭	11	生きがいづくり	65件
事故・賠償	1	趣味・余暇活動	42
人権	4	社会参加	12
その他	6	行事情報	1
経済・生活	253件	その他	10
生計	27	保健・医療	443件
所得保障	19	保健・衛生	138
年金・手当・恩給	77	医療相談	271
税金	1	医療費	7
住宅・設備	11	医療関係機関	25
仕事	108	その他	2
その他	10	合計	1,569件



お気軽にご相談ください
兵家連電話相談

TEL. 078-891-3886

土・日・祝日を除く平日10:00~12:00、13:00~15:00

病気の事や経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度(手帳・年金・他)利用の手続きなどについて、県から相談員として委嘱された家族会員や精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。

ご協力 ありがとうございます

平成25年度も、下記の団体及び個人の方々が兵家連活動にご賛同いただき、賛助会員にご加入いただきました。厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(順不同、敬称略)(平成26年3月31日現在)

医療機関の部

医療法人社団董会北野坂病院、大森クリニック 大森和広、中山神経内科 中山幸平、たつたクリニック、医療法人社団造山会まきび病院、花田神経内科クリニック、いずみ心療クリニック 谷口加容、片岡医院、松下メンタルクリニック 松下寿能、永安心療クリニック、医療法人社団東峰会関西青少年サナトリウム、医療法人達磨会東加古川病院院長 森隆志、医療法人実風会新生病院、医療法人尚生会湊川病院、医療法人古橋会揖保川病院理事長 古橋淳夫、大植病院、医療法人社団牧原クリニック 牧原寛之、医療法人社団佐々木医院 佐々木務幸、神戸市立医療センター中央市民病院精神神経科 北村登、はんしんメンタルクリニック 真殿実、まつい心療クリニック 松井律子、ただしメンタルクリニック 田中禎、医療法人社団随縁会ことしろクリニック理事長 印部亮助、医療法人社団魚橋会理事長 魚橋武司、原田心療クリニック 原田元基、平本医院 平本憲孝、医療法人社団かもめクリニック理事長 今村洋一郎、柳澤クリニック 柳澤正博、金高医院、医療法人内海慈仁会姫路北病院、寺田クリニック 寺田照久、医療法人山伍会播磨大塩病院、室井整形外科・心療内科 高森信岳、医療法人千水会赤穂仁泉病院、医療法人社団青心会青心会メンタルクリニック、医療法人社団高島クリニック理事長 高島繁樹、医療法人社団向陽会向陽病院作業療法室、

一般団体の部

一般社団法人赤穂市医師会、一般社団法人宝塚市医師会会長 末岡悟、社団法人兵庫県トラック協会、兵庫県高齢者生活共同組合、一般社団法人伊丹市医師会、兵庫県精神神経科診療所協会、一般社団法人兵庫県民間病院協会会長 吉田耕造、株式会社クルースプランニング、公益社団法人神戸市歯科医師会、訪問看護ステーションゆうなぎ、北家族会、東北福祉大学、社会福祉法人阪神共同福祉会 理事長 中村大蔵、公益社団法人兵庫県看護協会 会長 中野則子、

法人・施設・作業所の部

NPO法人オリーブの木 就労支援センターおむすび、NPO法人ハートフル、社会福祉法人すいせい、ひらめの家 岡村陽子、NPO法人居場所、NPO法人あいらんど、地域活動支援センターあゆみ、社会福祉法人さぎ草福祉会、NPO法人くぬぎ、NPO法人蓼の会ぐりん・どあ、NPO法人そよかぜねっと、社会福祉法人かがやき神戸、社会福祉法人ゆうわ福祉会本部

個人の部

大井敏弘、篠木和良、芦田賀津美、藤本百男、盛耕三、坊池正、安福英則、小田毅、春名哲夫、北川泰寿、梶谷忠修、菅野吉記、小西隆紀、金沢はるみ、大野ゆきお、五島たけし、藤原武光、北浜みどり、山口真司、佐野千恵子、久保照代、谷口佐和子、小川道子、和泉夏子、延藤充、朝田一郎、古林祐子、寺延順市、砂子了一、多田トモ子、鈴垣育子、波多野豊治、岡やすえ、神澤正三、小阪照子、桑田茂樹、伊賀晴夫、安部文子、有野和枝、三村花、井上忍、金田知子、青木聖久、見野耕一、中元幸治、牛丸忠夫、中井久夫、北浦義久、高井武雄、木下輝治、藤尾やす子、中村雅宥、北村雅由、高野純江、石本勝、杉本香代子、松本のり子、藤田修美、山内和子、谷雅博、中浦康子、宮崎隆吉、本多雅子、三谷道文、今村ハル子

兵家連活動日誌 役員 の 動き

KSKP

発行人 関西障害者定期刊行物協会 / 大阪市天王寺区真田山町2-12 東興ビル4F
一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価 五十円

- | | |
|---|--|
| <p>1月</p> <p>6 兵庫県関係者新年交礼会(兵庫県公館) (本條)</p> <p>新年の挨拶(県・神戸市・兵精協) (本條・涌波)</p> <p>9 知事新年面談(県庁障害福祉課) (本條)</p> <p>11 (社)兵庫県精神科病院協会 新年祝賀会
〈ANA クラウンプラザホテル神戸〉 (本條・涌波)</p> <p>兵庫県精神保健福祉大会(県看護協会会館ハーモニーホール)(本條)</p> <p>14・15 ピアサポーターによる家族 SST セミナー
～SST 出張ライブ(4つのスキル)
〈県福祉センター〉 (河上(講師:武岡孝))</p> <p>16 濱村進代議士来訪(兵家連事務所) (本條)</p> <p>18 家族教室阪神南地区(芦屋市)〈芦屋市保健福祉センター(芦屋家族会)〉</p> <p>20 家族教室姫路地区(姫路市)〈姫路市保健所(NPO 法人えんじえる会)〉
第 11 回きょうだい会(県福祉センター) (本條・藤田修美)</p> <p>22 家族会運営のてびき編集委員会(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>23 国際障害者交流センター運営協議会(泉ヶ丘センタービル) (本條)</p> <p>24 社会保障審議会障害者部会(厚生労働省) (本條)</p> <p>25 山口つよし代議士新年会(姫路サンシャイン青山) (本條)</p> <p>27 会誌 #76 編集会議(県福祉センター)(本條・涌波・米・伊東・坂井)</p> <p>30 みんなねっと組織運動検討会議(東京都障害福祉会館) (本條)</p> <p>2月</p> <p>1 関西青少年サナトリウム家族教室
〈関西青少年サナトリウム〉 (講師:藤田睦)</p> <p>5 メリデン家族支援 PT(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>15 家族教室阪神北地区(宝塚市)
〈市立男女共同参画センターエル〉 (宝塚家族会)</p> <p>16 阪神地区精神保健福祉研修会(芦屋市民センター) (芦屋家族会)</p> <p>19 障害者社会参加推進協議会(県福祉センター) (涌波)</p> <p>家族会運営のてびき編集委員会(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>21 平成 25 年度第 2 回 神戸地域障害者雇用・
就業支援ネットワーク会議(クリスタルタワー) (涌波)</p> <p>22 家族教室丹有地区(三田市)〈三田市総合福祉保健センター〉(にじの会)</p> <p>24 兵庫県食品表示コンプライアンス・セミナー(県福祉センター) (本條)</p> <p>27 県立光風病院運営懇談会(光風病院) (本條)</p> <p>28 近畿ブロック代表者会議(県福祉センター) (本條・涌波・米)</p> | <p>3月</p> <p>2 播磨・淡路地区精神保健福祉研修会
〈明石市立勤労福祉会館〉 (明石ともしび会家族会)</p> <p>3 兵庫県障害福祉審議会(県農業共済会館) (本條)</p> <p>英国メリデン版訪問家族支援技術紹介セミナー
〈神戸市教育会館〉 (本條・涌波)</p> <p>5 英国メリデン版訪問家族支援技術研修講演会(京都会場)
〈京都テルサ〉 (本條)</p> <p>7 英国メリデン版訪問家族支援技術研修講演会(東京会場)
〈津田ホール〉 (本條)</p> <p>兵庫県障害者芸術・文化祭(作品展)選考会(原田の森美術館)(涌波)</p> <p>9 第 12 回きょうだい会(県福祉センター) (本條・藤田修美)</p> <p>10 H25 年度 3 回権利擁護部会(県福祉センター) (本條)
神戸市議会請願(神戸市議会) (涌波・藤田睦)</p> <p>11 兵庫県障害者芸術・文化祭美術工芸作品展(受付)
(3/11～3/16)(原田の森美術館) (本條・涌波・藤田睦)</p> <p>13 平成 25 年度第 3 回理事会(県福祉センター)(理事・監事・顧問)</p> <p>14 みんなねっと三役会議・理事会(東京都障害福祉会館) (本條)
市町障害保健福祉担当課長会議(のじぎく会議) (瀬谷崎)
第 3 回県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議
〈兵庫県中央労働センター〉 (涌波)</p> <p>15 家族教室北・中播磨地区(市川町)〈市川町文化センター〉(中播磨峰の会)</p> <p>18 兵庫県障害者スポーツ大会第 6 回理事会 (涌波)</p> <p>19 兵庫県障害者自立支援協議会全大会(兵庫県民会館) (本條)</p> <p>24 県精神科救急医療体制連絡調整委員会(県民会館) (河上)
神戸市議会精神障害者相談員法制化に関する陳述
〈神戸市議会〉 (涌波)
H27 年度「花みどりバス」幹事会(県福祉センター) (事務局)</p> <p>27 県社協評議員会(県福祉センター) (本條)</p> <p>4月</p> <p>1 障害福祉局(竹内局長、上田課長、関課長)来訪
〈兵家連事務所〉 (本條)</p> <p>3 みんなねっと JR 運賃等 PT・事務局会議(京家連事務所) (本條)</p> <p>4 厚生労働省「事業協同組合算定特例」レクチュア
〈衆議院第一会館濱村進事務所〉 (本條)</p> <p>12 木の根会家族会総会(ハートフルかすが) (本條)</p> <p>15 民主党神戸市議団来訪(兵家連事務所) (本條・涌波)</p> <p>22 家族会運営のてびき編集委員会(みんなねっと事務所) (本條)</p> <p>30 きょうざれん石井様来訪(兵家連事務所) (本條)</p> |
|---|--|

※三役会議・家族会部会開催 (2/10・4/2 県福祉センター 本條・涌波・米・瀬谷崎・大倉・河上)

※兵家連精神保健福祉講座(第 4 回 1/30・第 5 回 2/12 県福祉センター)

編集後記

障害者の権利に関する条約の批准に向け、国内法の改正、新法の成立がありました。4月には精神保健福祉法の改正もあり、長年の懸案であった保護者制度がようやく廃止され、医療保護入院の手続きの見直しもありました。が、残念ながら手放して喜べる内容ではなく、今後も声を挙げ続けねばなりません。(坂井)

編集委員 / 本條・涌波・米・久下・伊東・梶山・坂井